

はるかぜ書房の新刊
平成 31 年 2 月中旬発売

生と死の対話

～さっちゃんへのラブレター

竹田 一三 1948 年 和歌山県和歌山市生まれ
一級建築士として 27 歳でタケダ設計を創業し、以来建築物の意匠を行う。PTA 活動や各種団体の役員を務めることで相談を受ける機会が多く、2005 年頃から人生相談のためのフィーリングポートを開設。

末期がん患者とカウンセラーの対話から生まれた作品
心穏やかな死の受容へ至る心の軌跡を、やさしい筆致で描く



生と死をみつめる

どう生きるか、どう死ぬかを考えるようになったら、読んでみてください。志半ばで倒れた人の思い、感じたことをカウンセラーが引き出して、誰にでもわかりやすい言葉で伝えています。楽しむ人、苦しむ人の違い。日常生活の大切さ。活きている言葉のすごさ。この二人が到達した境地をみれば、生き方のヒントとなるはずです。

はるかぜ書房株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川 1 丁目 9 番 7 号 1015 号
E-mail: info@harukazeshobo.com Website: www.harukazeshobo.com

ご注文 注文 申込 書	注文 数	はるかぜ書房株式会社	
		生と死の対話 ～さっちゃんへのラブレター 竹田 一三著	
		B6 版・並製 132 ページ 定価：1500 円＋税 ISBN:978-4-909818-03-4 C0095 ¥1500E	
ご注文は JRC へ		FAX:03-3294-2177 TEL:03-5283-2230	

※返品条件付き注文扱い